



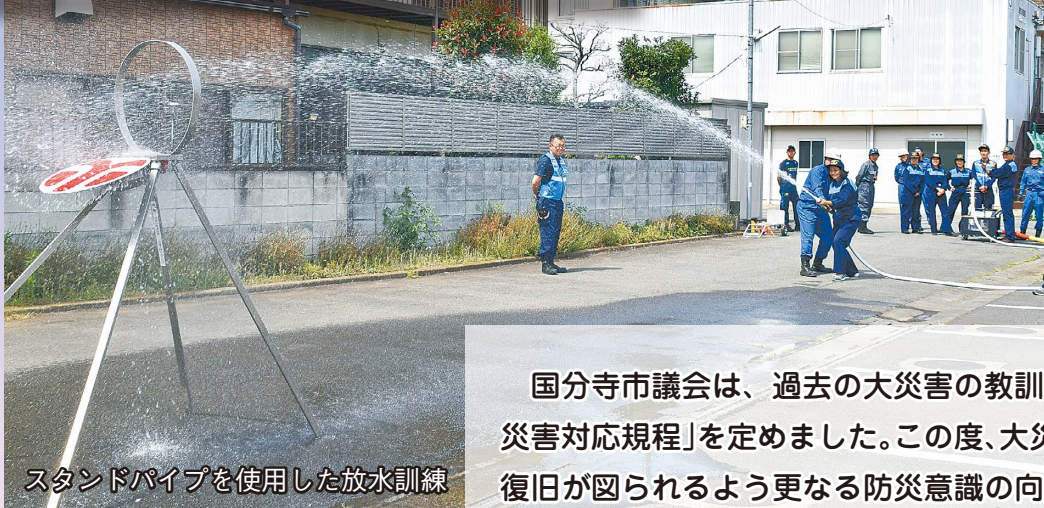
**すべての議案を
全員賛成で可決**

平成30年第2回定例会を、6月1日から6月25日までの25日間の会期で開催

- 市長提出議案11件、委員会提出議案1件を議決 (結果は8面)
- 22名の議員が一般質問を行い、市長等と議論 (2〜7面)
- 幼稚園が行う「預かり保育」への助成制度の新設に関する陳情を採択 (全陳情の結果は7面)

水ロケット発射体験会

「災害対応訓練」を実施



国分寺市議会は、過去の大災害の教訓から、平成28年11月に「国分寺市議会災害対応規程」を定めました。この度、大災害発生時に、市民生活の早期安定及び復旧が図られるよう更なる防災意識の向上と技術の習得を目指し、平成30年5月21日に「国分寺市議会災害対応規程」に基づく訓練を実施しました。

市政を問

平成30年 第2回定例会 一般質問の質問事項・答弁の要旨

内容は一般質問を行った各議員が一定のスペース内で自由にまとめたものを一般質問が行われた順番に掲載しています。

西国分寺駅東側地区を有効利用すべし !!

自民党新政会 吉田 りゅうじ



▼小中一貫教育について市の考えを聞く

【問】 小学校生活から中学校生活への移行期には、誰でも緊張と不安を感じる。新しい環境になじめず不登校やいじめが発生する現象を所謂「中一ギャップ」と呼ぶが、市の考えは？

【答】 「中一ギャップ」の未然防止を図るために、これまでも様々な取組をしてきた。環境変化を乗り越えることも発達段階で必要なことであり、子ども一人一人の思いに寄り添いながら、安心して安全に学校生活が過ごせるように指導・支援していくことが大切であると考えている。

【問】 中学校入学では、複数の小学校から知らない同級生が集まってくることもストレスの一因である。そろそろ小中一貫教育について、一歩踏み出す時期に到達していると考えているか？

【答】 現在は小中連携教育をさらに確かなものにしていくための取組を充実させていくことが重要であると考えている。

▼シルバー人材センターには更に活躍されたい

【問】 現下、雇用情勢は好転を維持しており、65歳を超えても働く意思を持つ高齢者は増えている。しかし、シルバー人材センターにおいて会員数は減少、指定管理もLホール、いきいきセンターの管理は契約終了となるなど先行き不透明な部分も多くある。市とセンターでしっかりと情報共有し、地域共生を推進して戴きたい。

【答】 現在の軽作業だけではなく、現役時代に培ったホワイトカラーのスキルや能力を活かしてシルバーでの就労を進める可能性はある。あらゆる人が活躍する社会の実現として、高齢者

がいつまでも健康で意欲を持ち活躍していただけるよう市としても取り組んでいく。

▼西国分寺駅東側地区を有効に活用すべき!

【問】 東側周辺地区にお住まいの方で改札口新設に反対されるケースはとて考えにくい。鉄道事業者側から改札口を作りたくなる方策、例えば近隣で言えば国立駅や武蔵境駅のように鉄道事業者の運営する商業施設との併設により改札口を設置戴くなどの方策も考えられる。更には現在の交通広場や市有地を活用して市役所の新庁舎を鉄道駅舎に隣接するのは如何か？

【答】 鉄道事業者自らが東口改札の必要性を感じられるよう魅力あるまちづくりを進めていく。また、庁舎と他の施設との複合化についてはメリットデメリットを比較検討していく必要がある。

ペアレントメンター事業いよいよ一歩前進へ

公明党 さの 久美子



1. 地域共生社会構築のために

さの) 育児と介護が同時におこるダブルケア。まず市職員への育児・介護等の休暇制度の冊子の周知と工夫が必要である。今後、複合的な相談体制が必要となるが、ダブルケア相談窓口の設置を検討してほしい。市) 職員にはダブルケア問題も含め、さらに周知したい。来年度に向け、ダブルケアも含めた複合課題に対応する総合相談支援体制を検討中。健康部・福祉部・子ども家庭部の3部の連携により整備する方針。

2. 切れ目ない子育て支援について

さの) 昨年7月に開始した「ゆりかごこくぶんじ」事業はまだ面接に至らない方が多いが、全妊婦さんの面接をめざしてほしい。妊娠から出産、子育てまで一貫して同じ場所で相談でき、

切れ目のない支援を実施するのが、子育て世代包括支援センター。日本版ネウボラ構築のために全力で取り組み願いたい。市) 早期に妊婦さんに関わることは重要。保健師を中心とした複数の職種を配置し、来年度開設めざし準備する。

3. ペアレントメンターについて

さの) ようやく東京都がペアレントメンター育成・派遣事業を開始した。国分寺として今年度どう取り組むのか。市) 今年度、制度を活用し、候補者の選出を図っていききたい。さの) ペアレントメンター事業が前進する年にしてほしい。

4. 安全・安心のまちづくりについて

さの) 「ブロック塀」は災害時、危険で改善すべきという声が多い。市にはブロック塀等撤去工事助成事業がある。地域の防災情報地図等を

活用し、ピンポイントで周知、急ぎ事業を進める必要あり。市) この制度をまず知ってもらうことが事業を進めるポイント。市独自の調査は限界があり、地元の調査情報に関連させたい。

5. 認知症対策について

さの) コンビニと締結した見守り協定をもっと活用し、積極的に情報交換するなど認知症の方を見守る体制づくりをするべき。市) 市が橋渡し役となり、地域包括支援センターとの円滑な連携を図れるよう対応したい。さの) フレイルとは虚弱を指すが、早期の気づきと適切な対応が大事。身近な場所でフレイルチェックできるシステム構築を求める。市) 地域包括支援センター主体でフレイル予防をテーマに体力測定会を随時地域で開催し、フレイル予防に取り組む。

解体工事にもルールを! SDGs 推進へ

国分寺政策市民フォーラム だて 淳一郎



建築物の解体工事について

だて) 住宅などの解体工事に際しては騒音、振動等が発生する。多くの事業者は周囲への配慮のもと工事を行っているが近隣トラブルとなるケースも多い。市はどのように対応しているか。市) 市民から連絡を受けた際には、現地確認を行い、防音対策等に不備があれば指導している。だて) 短期間だからと我慢している方も多くいると思う。今後さらに住宅等の建て替えが増加し、解体工事が増えていく見込みの中、トラブル抑止のため、近隣への丁寧な事前説明や防音防塵対策等、周辺への配慮をルール化していく事が市民の安心のため必要と考えるがいかがか。市) 国分寺市としての独自規制や届出の強化など、すでに行っている他自治体の事例等も参考

に研究を行って参りたい。

SDGs (持続可能な開発目標)について

だて) 2015年に国連サミットで全会一致にて採択されたSDGs (エスディーゼーズ) は貧困や差別の撲滅、ジェンダー、環境、経済、まちづくり等、2030年までの達成を目指した17の全世界的目標を定めたものである。日本政府も推進本部を設置するなど取組みを始めており、各自治体に期待される役割も大きい。当市においてSDGsをどう捉え、推進していくか伺う。市) 平和で豊かな地球を持続していくために大変意義のある内容であると市としても認識している。これまでも温暖化防止などSDGsの掲げる内容と同趣旨の取組みを行っている。だて) 市民や職員の皆さんへの浸透がまだ進ん

でいない状況がある。まずSDGsの考え方を知ってもらう事がスタートであり、機会を捉え周知を。特に次の世代を担う子どもたちへの啓発は重要となるのでお願いしたい。

教育長) 国際社会を生きる子どもたちにも大切な内容。教科横断的な視点で取り組んでいく。

未返却図書について

だて) 先日、足立区が未返却の図書2万冊の返却を断念したという新聞報道があった。当市の未返却図書の状況はどうか。

市) 約2千冊の本が長期間にわたり未返却。だて) 図書館管理の委託業者の知見も活用しながら返却率向上と未然防止策の検討を要請する。※このほかに子どもの見守りと危機管理マニュアルについて質問を致しました。

次の定例会開催予定

市議会を傍聴してみませんか

平成30年第3回定例会は、8月31日(金)から開会の予定です。

議会はどなたでも傍聴できます。ぜひ傍聴にお越しください。

*本会議は市役所第1庁舎3階議場で、委員会は同委員会室で、午前9時30分から開始予定です。

請願・陳情の署名簿について

請願・陳情を提出するにあたり、署名簿を添付される場合においては、必ず【注意事項】を記載していただくようになります。この書式は、平成30年第4回定例会の新規の請願・陳情提出(9月27日(木)以降受付)から適用になります。

なお、書式例を市議会ホームページにも掲載していますのでご確認ください。詳しくは、議会事務局にお問い合わせください。

請願・陳情の提出について

請願・陳情はどなたでも提出できます

市民の皆様への行政等に対するご要望は、請願・陳情として市議会に提出できます。

請願・陳情はいつでも提出できますが、平成30年第3回定例会(8月31日開会予定)からの審議を希望する方は、8月13日(月)までに直接議会事務局へお持ちください。

鉄道の安全対策としてホームドアの設置を

新海 鉄道のホームには視覚障害者の転落防止用に線状ブロック等が設置されているが、国分寺駅では他にCPラインが転落防止効果をあげている。CPラインの設置状況は。
まちづくり部長 CPラインは蛍光色のオレンジ色の線で、2・3番線のホーム端に引かれ、視覚障害の方などに危険を訴える効果があるということです。中央線では吉祥寺他3駅にある。
新海 転落防止にはホームドアの設置が最も効果的。現在中央線ホームが長くなる予定があるが、その際ホームドア設置はできないか。
まちづくり部長 中央線グリーン車サービスの導入の際、12両編成になる予定、その際ホームも延長される。開始は2023年度末が予定されているが、ホームドアについては中央線快速の東

京一立川間で2020年度後期から2025年度末までの間で整備する予定との情報がある。
新海 国分寺駅北口広場地下に設置される3,000台の駐輪場が駅利用者のみで満車になり、商店会の買い物客が利用できないのは困る。定期利用と一時利用の区分はあるのか。また買い物客用の一定時間無料の駐輪場はできないのか。
建設環境部長 地下駐輪場は定期利用枠を設けずに一時利用専用にして、現在の北口東側の駐輪場は定期利用専用にした。また商業振興のために一定時間無料の駐輪場も検討したい。
新海 商店会の売上高と商店数が激減している。核となる生鮮3品(野菜、肉、魚)の店がなく、老舗といわれる店もない。商店会の集客のために特に核として必要と思われる店舗継続、誘致

自民党新政会 新海 栄一



のために補助金等振興策は考えられないのか。
市民生活部長 地域の核となる店に家賃助成等新たな補助制度となると慎重な対応が必要。地域の状況によって求められる業種も異なるので、他市の事例も調査、収集して研究してみたい。
新海 本多五丁目の民族資料室が長期間閉館している。江戸～明治期の農機具や生活用品、諸国国分寺の瓦のコレクション等貴重な資料がある。地域の老人会に管理を任せられないか。
教育部長 常々活用を考えているが、現在収蔵スペースとして満杯であり、管理用の部屋を確保するにも資料の一部移転が必要。地元からのご提案を伺ってみて、検討させていただく。
新海 常時開館の利点と共に、地域の会合の場所にも利用できる、早急な検討をお願いしたい。

市民の安心安全は平常時の備えから

1. 道路整備について
①電線の地中化について
問 近年、国や東京都が無電柱化を積極的に進めている。市に対しては財政補助の拡充や技術的な支援も行われると聞いた。今後の取り組みについての考えは。
建設環境部長 昨年度、市内の基礎調査を実施し、現在は国立駅の北の通りを対象に具体的な検討を進めている。まずは都の補助制度を活用し課題等の検証を行い今後につなげていきたい。
②道路工事に伴う消火栓について
問 消火栓の視認性を上げる為に舗装の打ち替え工事を行う際にはラインの焼き付け塗装費用の中に必ず消火栓のライン分も入れて欲しい。
建設環境部長 所管する部署と協議して、出来

る限りの対応を図って参りたい。
2. スポーツ施設の整備について
問 けやき運動場の人工芝化に合わせてフェンスのかさ上げ、捲れている箇所の修繕、倉庫やダッグアウトの改修、周囲のランニングコースの舗装等、安全で快適な環境を整えて頂きたい。
市民生活部長 安全管理の点からも適切に修繕等を行い、スポーツ環境をしっかりと整えていく。
3. 太陽光パネルの設置について
問 災害時緊急避難場所となる地域防災センターは市立小・中学校などである。避難者の安全を確保する為に学校の屋上に太陽光パネルを設置することはできないか。軽量の物もあると聞く。
総務部長 災害時の停電対応として発電機、投光器、燃料は一定量備蓄しているが、半永久的

自民党新政会 田中 政義



な電力供給は大変有効と考える。研究したい。
行政改革等担当部長 施設の荷重等に関する検証が必要である。改修時は当然検討し、設置できる可能性を最大限模索していくべきと考える。
4. 消防団活動について
問 本団の体制について、近年の出場回数の増加や災害対応の更なる充実を図る為、副団長を2名増員し6名体制とすることはできないか。
総務部長 定員増については現状では難しい。
問 では本団の補佐的な役割や本団候補となる人材を確保する為に本団と分団の間となる役割の組織を作ることはできないか。
総務部長 小金井市等、他の組織を参考に人材確保の視点を踏まえて研究させて頂きたい。体制強化については受け止めさせて頂く。

ニーズに根ざした工夫で市民利益の向上を！

市内掲示板について
丸山 現在市内では公共・民間含め掲示板がない空白地が点在。一方自治会として掲示板設置を望むも用地が確保出来ない等の課題がある。こうした状況・ニーズに対し市として場所の提供、例えば線路沿いのフェンスやスペースのある道路、橋梁等の一部を提供するなどし、掲示板設置支援を行うべきと考えるがどうか。
市民生活部長 掲示板設置は民間設置が基本なるも、今後は庁内関係部署、関係機関と調整し、寄り添う形で前向きにお手伝いして参りたい。
市内投票所について
丸山 リオンホール・国立駅前の市民プラザがオープン。期日前投票が広く活用される中、この2カ所も投票所とすべきと考えるがどうか。

選挙管理委員会事務局長 来年は市議選、参院選が予定されており、両所は有効な施設と認識。選挙管理委員会として検討して参りたい。
公共施設予約システムについて
丸山 昨年6月より開始の公共施設予約システムだが、現行使用日3日前迄に当該施設に向向く必要がある等、利便性から改善が必要と認識。今後クレジットカード等の登録・決済を導入する等し、キャンセルがなければ本予約・決済が完了とする運用に出来ないか。検討願う。
政策部長 本システムは全施設で本格稼働したばかりであり、まずは現行の運用を徹底したいが、利便性向上のため提案内容を研究したい。
地域経済の活性化・地域内乗数効果について
丸山 市の将来を考える上で商工業発展は欠く

自民党新政会 丸山 哲平



ことが出来ない。この認識は市も同様と考えるが、市内商工業発展が消費面等でどのような意義・効果を持つのか、いわゆる地域内乗数効果を市は調査、データとして把握しているのか。
市民生活部長 現状では把握していない。
丸山 市では入札において総合評価方式を採用、価格以外の要素も考慮していることは理解。しかし乗数効果=その後の経済的波及効果は把握出来ていない。健全な地場産業発展に寄与するため、また今後の経済施策を検討する上で市民への説明責任含め、こうした数値的根拠を持つことが重要と認識。研究・検討を願う。
部長 他市の事例研究や官学連携等を通じて乗数効果を用いた手法につき研究して参りたい。
その他 改元に伴う対応、しごと改革等質問。

安心で住みやすい、笑顔溢れるまちづくりを！

●交通安全対策について
問 危険運転自転車の法令違反の取り締まり、マナーアップ強化に向けた取り組みを求めたい。
市 警察署と連携を図り、安全強化に努める。
問 新設された「東恋ヶ窪でんしゃ公園」は、地域の児童や園児が多く利用しているが、交通量が多く、横断歩道や信号機の設置をすべきだ。
市 警察署の見解では、踏切が近く、歩行者の待機場所の確保ができず、現状設置は困難な状況だが、市としては、強く要望をして参りたい。
問 国3・4・6号線・仮歩道の暗い時間帯の自転車や歩行者の接触が危険視されている。街灯の設置を求めたい。
市 安全対策を講じて参りたい。
●高齢者支援・福祉施策について

問 介護予防、生活・就労支援など高齢者に役立つ情報を纏め、出かけたくなるような「高齢者専用生活ガイドブック」の発行をすべきだ。
市 幅広い情報をお知らせする上で効果的な手法である。総合的な視点から進めて参りたい。
問 介護職員の初任者研修の受講料の支援や講習会開催の支援など、今後の介護サービスの提供基盤を強化していくための取り組みを求めたい。
市 介護職の就労希望者や事業への支援策について検討を行い、取り組みを進めて参りたい。
●不法投棄の対策について
問 悪質な不法投棄に対して、「監視カメラの貸与」の取り組みを行っている自治体もある。より抑止力を高める対応が必要だと考える。
市 清掃指導員のパトロールや看板設置の強化

公明党 なおの 克



をしていくと共に、新たな手法を検討して不法投棄を減らしていきたい。
●病児・病後児保育について
問 保育領域の中で、取り組みが遅れている病児・病後児保育について、小学校3年生まで、受け入れ対象年齢を拡大し、施設の拡充を求める。
市 利用者のニーズを考慮し検討していきたい。
●休日開庁について
問 転入の場合、住民異動届だけでなく、各種異動申請が必要となる。窓口業務を増やし、一度の来庁で完結する「休日開庁」を行うべきだ。
市 総合的に判断しながら、よりよい市民サービスができるように研究を重ねて参りたい。
●その他、「市の魅力発信」や「新たな期日前投票所の設置」について、要望を頂きました。

ごみ減量は資源循環型まちづくりの推進で

国分寺・生活者ネットワーク 秋本 あすか



◆ごみ減量施策について**秋本**平成32年度からの日野市でのごみ共同処理開始にむけて、燃やせるごみの減量がさらに必要、3割以上を占める生ごみの減量は有効だ。市民との協働で生ごみ肥料事業として資源循環型のまちづくりを進めてきた。生ごみ資源回収を取組みやすく、参加する市民を増やすために、現在2校の学校収集拠点の増設を求める。答状況を注視し、増設を検討したい。秋本地域での拠点収集は、ごみ集積場が設置される集合住宅では住民も取り組みやすい。新築入居に際し資源化の取組みを周知強化すべきだ。既存の集合住宅でも住人の入替え等で繰返し案内を。答古紙等集団回収の説明会にて、地域での拠点収集も説明していく。廃棄物減量等推進委員と協力して向上も図る。

◆防災まちづくりの推進**秋本**今年3月に東京都の避難所管理運営の指針が改訂され、各種チェックシートや掲示物の事例が様式集にまとめられた。避難所では情報共有が不可欠だ。子ども・高齢者・障がい者・外国人への配慮や、人権や健康への対応等、誰にでもわかりやすくすぐ使えるシートを市の地区防災センター運営マニュアルに取り入れるべきだ。答参考にして市での活かし方を研究する。秋本防災まちづくり推進地区以外からの防災倉庫設置要望で地域内に公園等がない場合の対応を求む。防災倉庫は在宅避難と地区本部の体制づくりには欠かせない。地域の発意を後押しし、わかりやすい情報提供を。答近隣の公園に設置可能。相談後に担当課と調整の上、占有許可申請してもらう。庁

内連携を強め、気軽に相談できるよう工夫する。◆保育の質の向上を目的に、平成26年度から心理相談員による巡回支援相談を実施。秋本保育園の増加に伴い保育士からの相談回数は年々増加。支援を必要とする子どもへの対応相談として、保育施設からのニーズも高く、相談体制の充実を求む。答現在1名体制で日程確保に苦慮している。効率的なスケジュールを組み対応を図る。複数体制等相談体制の充実は今後研究したい。秋本公園を代替園庭とする園も増え、地域で子どもを見守る観点も大切だ。保育に関する苦情・相談解決システムとして位置付けられた保育の相談窓口で、市民の声にも解決まで責任をもって対応し、情報共有を。答相談窓口を周知し、市民意見を有効活用したい。

鳥の眼、虫の目でまちづくりを推進

自民党新政会 尾作 義明



国3・4・11号、国3・4・1号線の進捗について市》東京都が事業化に向けて検討や調整を進めている、早期事業化を強く要望。3・4・1号線は市施行であり、今年度、交通管理者との協議を進め事業概要等の説明会、測量作業を行う予定。尾作》狭い地域に交差点が4か所と難しい事業。慎重に計画、検討頂き、安全対策、渋滞対策等、地域への気配りと声を聞き丁寧に進めてほしい。国分寺駅周辺整備について尾作》駅周辺を利用する様々な方々を対象にそれぞれ具体的に考えバリアフリー化、電線の地中化、接道の安全確保、そして周辺の商店への物流対策など丁寧に進めてほしい。移転する交番については、設置場所が駅頭から見えない。駅前をしっかり見守れるよう工夫が必要。また、

停電時に点灯する多機能を持つ電灯を求める。国分寺駅北口自転車駐車場の使用料について尾作》市民の税金をかけて整備した駅周辺の駐輪場であることから市民と市外の利用者との利用料金を見直す必要があると考える。市》考え方として地下駐輪場は一時利用専用とし、駅東側3階建ての駐輪場は定期利用専用として運用したい。また、近隣市の状況から定期利用者について市内利用者と市外利用者の一定の料金格差を設ける必要はあると考える。都市公園、ポケットパークの樹種選定について尾作》公園の低木がサツキ、ツツジで統一されている。市の花であるから進めて植えていることは理解できるが、市内の低木の生産は多品種化しており、地産地消の観点からも限定した植

え込みでなく他品種の検討を求める。市》場所の適正、管理のしやすさなど管理の優秀さ普及の必要性など検討して選定を進めたい。消防署移転新築について市》泉町に新築される庁舎は地上5階地下1階高さ18メートルで延べ床面積3,900平米。構造は免震構造となり、消防機能のほか防災教室の会議室、待機宿舎、地下2階部分には100トンの防火水槽が設置の予定。本署から順次移動する。尾作》新たな消防体制が整う迄の間、防災への偏りが発生しないよう体制確保を求める。公文書管理について尾作》公文書のライフサイクルは作成、整理、保存、移管又は廃棄。管理年限や歴史公文書など取り扱いを検討すべき事項が多く対応が必要。

隣接市医療機関との相互受診の交渉協議を

公明党 高橋 りょう子



(1) 健康推進施策について

①おたふくかぜは現在任意接種だが難聴のリスク等懸念され、集団感染拡大や重篤化の抑制、保護者負担軽減の為にも助成等検討できないか。市》合併症予防の観点から国の検討状況や医師会の意見も参考に、動向を注視して参りたい。②これまで提案推進して来た健診や予防接種などの隣接市間における相互受診が好評。市民の利便性向上の為に残る立川市との交渉協議を。市》相互乗り入れは先方の自治体・医師会との調整が必要だが、市民の利便性や受診率向上を図るためにも早期実施に向け協議を進める。

(2) 高齢者の健診検査項目について

①年齢を重ね骨の強度低下や骨粗鬆症により骨折し易くなる。健診項目に加え早期発見・対策を。

市》骨の健康度チェック表を健診個別通知に同封し、丁寧な周知、気付きを促すよう取り組む。②国内がん死亡者は肺がん、大腸がんに次いで多いのは胃がん。主な原因とされるピロリ菌のリスクを発見できる検査の導入検討の進捗は。市》26市中12市で検査が実施されており他市の状況や動向、効果を注視しながら検討したい。(3) まちの魅力・食育推進施策野菜や赤米等を始めとするこくベジは都市農業の特徴的なまちの魅力。交付金助成終了以降もプロジェクトの自走化に向け更なる展開を。市》交付金助成以降も、農業振興、町の賑わい創出の為、JA・商工会等と協議し支援していく。(4) ごみ有料袋の減免申請会場について今年は並木公民館や内藤地域センター受付が行

われなかった。その理由と今後の考え方を問う。市》受付件数の多い会場に集中させてしまったが、来年度は総合的に判断し検討する。(5) 公民館の備品整備について年代層や時代の変化などにより備品の要望も多様化している。利用者の声も参考に検討を。市》利用者が安全に使って頂く事を基本とし利用者協議会からの要望や意見を参考に、老朽化が激しい備品の買い替えを優先し検討していく。(6) スポーツ振興の取組みについて史跡駅伝の成人の部がスタートする。市内事業者さんへも働きかけ、町全体で機運の高まりを。市》オリパラに向けても普及助成に取り組む。その他 ①市内でフードドライブの支援体制を。②3歳児から就学前迄の健診空白期間の対応を。

介護予防・社会参加を継続できる外出支援を

国分寺・生活者ネットワーク 高瀬 かおる



◆「住まい」について(問)医療や介護、生活支援、介護予防、住まいを一体的に提供する地域包括ケアシステムの構築を推進しているが、住まいの考え方が見えにくい(答)プライバシーと尊厳が十分に守られた住まいが不可欠と考える(問)住宅確保配慮者(高齢者や低所得者等)の住宅確保のため、賃貸人への支援も含めた「新たな住宅セーフティネット制度」が昨年始まったが、国分寺でも住宅の確保が大変との声を聞く。住宅はあればいいのではなく、そこでどのような暮らしをするのか、福祉的な要素も含めた住宅施策が必要だ。調査を求める。(答)要配慮者の課題把握は当事者や関係者の話を丁寧に伺う。賃貸人の意識調査は対象範囲や調査方法等の研究が必要(問)居住支援協議

会の設置も念頭に福祉と住宅部門が連携し課題の共有を(答)住宅部門が中心となり連携する。◆介護予防と外出支援について(問)今年度作成する地域資源マップのイメージは(答)地域で介護予防に取り組む団体の活動状況がひと目でわかる内容(問)介護予防や社会参加を推進するならば、一人ひとりの体調や、膝や腰の状態に合わせて、必要な時に適切な外出の支援を選べるのが重要だ(答)既存の送迎サービスを行うNPO法人の活動に加え、市民活動やボランティア活動を活性化し、外出支援の課題も含めた地域の課題に対応できるようにする(問)外出支援の担い手の創出も視野に、様々な分野で活動する方や地域住民も含めた意見交換の場の設定を提案(答)市全域を対象とした「生活

支援・介護予防サービス整備推進会議」をさらに細かい日常生活圏域に新たに設置し、それぞれの地域の課題や資源を把握しながら支え合いのしくみづくりについて検討を進める(問)地域福祉推進協議会とも連携を(答)連携していく。◆生きがいセンターと多世代の居場所づくりについて(問)生きがいセンターが高齢福祉課から健康推進課へ所管が変わったが、食べることや体操など健康の視点を取り入れた、健康部ならではの多世代の居場所づくりを市民参加で進めることを提案(答)現在は行われていない。一定の仕かけのようなものが最初は必要。指定管理者が自主事業の中で工夫を凝らし検討いただくよう募集要項等に含めていきたい。(問)地域団体への部屋貸しについても検討を求めた。

cocobunjiプラザから、まちの文化の発信を

国分寺・生活者ネットワーク 岩永 康代



■情報公開と公文書管理■**岩永**国では公文書のずさんな管理が露呈し、民主主義のあり方が根本から崩れている。公文書の管理と情報公開は、事業の透明性や市民への説明責任を果たすために不可欠であり、セットですめることが必須。情報公開サイトである「**公文書目録検索**」を市民にとって使いやすく改善するとともに、市政情報をホームページでわかりやすく公開・提供し、**情報公開の推進**を。**岩永**検討する。**岩永**市では情報公開は条例で定めているが、文書管理は行政内部で決定・運用する規則である。東京都でも**公文書管理条例**が制定された。市民共有の知的財産である公文書の管理についても、議会の議決を経て制定される条例として整備すべき。**岩永**国、都、他市の動向も注視しながら考える。

■国分寺駅北口周辺施設の安全対策■**岩永**西街区地下への階段最上部の段差がたまたまきやすく危険。共用開始までに対策を。**岩永**雨水対策であるが受け止める。**岩永**北口階段の点字ブロックは、南口に比べて幅が狭い。また、北口階段の手すりが階段部分のみ設置され、つながっていない。さらに南口の手すりには点字があるが、北口には無いなど、北口はバリアフリーの視点や障がい者・高齢者への配慮が欠けている。今後は、建築物等の完成前に障がい者や高齢者を含む市民参加で現場を見たり歩くなどの機会を設け、不具合を確認し、ご意見をいただくしくみを。**岩永**検討する。**岩永**本町二丁目交差点の駐車場表示看板の文字が歩行者用信号と同じ高さで、信号と同じ色のため、間違いやすく危険。

早急な対応を。**岩永**駐車場の管理会社に伝える。**岩永**cocobunjiプラザの活用■**岩永**4月のオープニングの際の市民の作品展示が好評だった。今後、フロア全体の活用方法を検討する中で、「市民ギャラリー」としての活用の検討を。**岩永**細かい使い方など、整理していきたい。**岩永**新たにスタートするサポーター会議に市民を公募するなど、市民の輪を広げる取り組みを要望する。**岩永**妊娠期からの切れ目のない支援■**岩永**子育て世代包括支援センター整備の中で、妊娠・出産に不安のある人が相談できる「**妊娠SOS**」窓口の設置を。**岩永**検討する。**岩永**母子手帳の交付とあわせて、**子どもの発達**や相談記録を希望者がファイルで整理し、まとめられるしくみを。**岩永**センターの設置をきっかけに検討する。

学童の増設 井澤市長の無責任な姿勢が鮮明に

無会派(日本共産党国分寺市議団) 中山 こう



〈介護保険①必要な方に必要なサービスを〉生活援助サービスの月回数基準を国が決定。要介護1：27回、2：34回、3：43回、4：38回、5：31回。この回数を超える場合、10月からケアマネに市への報告を義務付ける制度運用を国が決めたことについて
問) 基準を超える回数であっても必要なサービスを保障することを求める。
答) 回数で一律に制限するものではない。
* ケアマネの負担を増やさないと基準を超える回数も可能であることの周知を
* 安倍政権は生活援助サービスを狙い撃ちにして、社会保障費を削減しようとしている
〈介護保険②介護保険料の値上げは必要なし〉介護給付費の予測から保険料が算出されます

が、給付費の予測が高すぎる。給付費が増える要因①～③と給付費の伸び率④の予測

	H29年度	H30年度予測
①介護報酬改定	1.14%	0.54%
②75歳以上の高齢者数の伸び率	2.9%	2.4%
③要支援・要介護認定者数の伸び率	3.9%	3.6%
④給付費の伸び率	3.3%	7.5%

* 給付費の伸び率が過大に予測しすぎている。適正な予測をすれば、介護保険料引き下げの可能性があったことを求めた。
〈学童狭あい状況解消と6年生までの受入れ〉(4月時点)

	定員数	登録数	登録率
本多学童	40	91	228%

第一東元町学童 41 79 193%
第三泉町学童 32 57 178%
2014年に狭あい状況の解消や6年生までの受入れなど、市長が「5年間で大至急検討を重ねたい」と答弁しています。
問) 6年生までの受入れについて検討の内容は答) 検討していない旨の答弁。問) 市長は現状について反省しているのか。市長が答弁せず部長が答弁
* 井澤市長は無責任。早急な6年生受入れ計画策定が市の最低限の責任。それには民間だけでなく、公立での増設も含めた検討が必要。他、増設も含めた学校教室の確保、待機児童急増に対し、もともち・しんまち保育園を受入れ施設として、0～2歳児の施設増設を求めた。

道路建設の地権者対応、国保税、特養ホーム

無会派(日本共産党国分寺市議団) 岡部 宏章



〈国3・4・12号線の地権者への対応は〉
岡部：道路建設を進める以上は、地権者の方々の生活に出来る限り影響が及ばないように市が対応を行うのは当然のことだ。
建設環境部長：丁寧に、個別に対応している。
岡部：市が出来る限り近隣のまとまった土地を確保して、地権者の中で希望する方にはそこに移っていただくという対応の検討を。
建設環境部長：市に大きな財政負担が伴う。(と否定的見解)
岡部：極めて不十分だし、まだまだできること、しなければならないことがある。市は今のよう態度を取っていて平気なのかということが問われている。
〈国保の都道府県化と今後の保険税〉

岡部：保険税の負担緩和を図るための繰り入れは10億2千万円程(28年度)。これが国によって新たに赤字だとされるようになった部分か。
健康部長：国によれば、保険者の政策によるものとして、赤字と定義されることになる。
岡部：国は、その赤字をどんなふうで解消すると言っているのか。
健康部長：適正な保険税の見直し、収納率の向上、医療費適正化の3点示されている。
岡部：今後、国が言うように、国分寺市も6年間で赤字を解消していくということになるのか。
健康部長：現在、国保運営に関する協議会に諮問中だ。
岡部：国分寺市は加入者に新たな負担を課さないという姿勢を貫くべきではないか。

健康部長：今回の都道府県化に伴い、将来的には都内の保険料率の統一化を図っていくためには、赤字の解消が必要であると考えている。
岡部：あくまでも値上げする前提でいま検討されているということがよくわかった。
〈介護体制の充実と介護施設の増設について〉
岡部：国分寺市独自で特養ホームの待機者の詳細を調査するという考えはないのか。
福祉部長：その様な調査は考えていない。現状としても、地域包括支援センターにおいて家族等からの相談に応じ適切な対応が図られている。
岡部：それならば、市が地域包括支援センターに聞けば把握ができるということか。
福祉部長：市のほうから問い合わせれば可能。
岡部：すぐにそこは把握していただきたい。

介護支援の充実、交通安全、防災対策等

公明党 木島 たかし



安心の介護に向けて支援の充実を
問) 介護等高齢福祉の手続きや相談は、いずみプラザを基本に、一部で本庁舎での対応となる。理想はどちらでも同じ手続きができること。可能な限りワンストップ(一元的)で対応を。
答) 総合的な相談体制の検討を進めるとともに、各部署との連携や窓口対応を工夫し改善したい。
問) 介護事業者へのさらなる支援が必要。ヘルパー等の研修の場として、福祉用具や設備が整っている「いずみプラザ」を活用できないか?
答) 状況を把握し必要な支援を検討したい。
若者・青少年への相談体制の充実を
問) 東京都が、LINE等のSNSを活用した、悩みごと、いじめやネットトラブル等の相談事業を開始した。これまでの電話相談等に加え、

相談の選択肢として広報に努めてほしい。
答) 重要だと認識。周知していきたい。
バリアフリーのまちづくりを進めるべき
問) 改正バリアフリー法が成立した。バリアフリーを「点から面へ」進めるため、また、補助制度活用が見込め財政的にもメリットが大きい。市としてマスタープラン及び基本構想の策定を。
答) 具体的に検討を進めたい。
都道国分寺街道及び多喜窪通りの安全対策
問) 国分寺街道の歩道がない部分の安全対策としての緑色のカラー舗装が一部で色落ちし危険な箇所がある。また、一里塚第二の一つ北側の信号付近は通学路でもあり対策が必要だ。
問) 多喜窪通りで歩道が狭い区間の対策が急務
①泉町陸橋(泉町三丁目)の歩道での自転車乗

車が多く歩行者優先のサインなど対策を。
②南町三丁目～泉町一丁目～西元町一丁目は、急な坂道区間。安全対策に万全を期してほしい
答) それぞれ改善に向け都に要望していく。
防災・木造住宅密集地域への対策推進のために
問) 感震ブレーカー支給がスタートする。阪神・淡路大震災と東日本大震災で原因が特定された火災の約6割が通電火災であることから、対策として重要。対象者へ広報と支給促進を。
答) 指摘を踏まえ、丁寧に周知していく。
問) もみじ橋(東元町二丁目)は通勤通学で多くの市民が利用。周辺の防犯対策として市管理分の街灯に関しては、早期にLED化対応を。
答) 可能な限り対応していきたい。
他に民間との連携で自転車駐車場対策を質問。

①改正バリアフリー法活用 ②子育て・教育充実

無会派(ここに幸あれ) 幸野 おさむ



幸野) ◆国分寺駅北口階段・スロープ上部に屋根設置を◆車イス、ベビーカー等で通行する際、階段で手すりを使用する際、傘を差すことが出来ない。水害防止含め早急に屋根の設置を(部長) 現在、屋根を設置する考えはない×
幸野) ◆西国分寺駅東口開設に向けて◆改正バリアフリー法の下で「マスタープラン」「バリアフリー基本構想」を策定し、鉄道事業者や東京都と真剣に考える取り組みを進めてほしい。(部長) 今後、情報に留意して進めていきたい△
幸野) ◆恋ヶ窪駅東口開設に向けて◆類似している秋津駅北口の無人改札口を視察し、確信。自動改札機3台・自動券売機3台で1億3千万円。無人改札口での開設も十分可能ではないか(部長) 参考にしながら研究させて頂きたい△

幸野) ◆バリアフリーの取り組み◆が非常に遅れている。オリパラに向けて加速を求める。
幸野) ◆人口ビジョンが連続大誤算◆2015年策定「人口ビジョン」も2011年策定「人口推計」も「実人口」との乖離が激しい。政策の大前提になる人口推計が、長年に渡り誤り続けている状況は深刻、政策含め早急に見直しを。(部長) 指摘のとおり、推計と人口が乖離していることは事実。しかるべき時期に検討する△
幸野) ◆第三・第四小学校の校庭拡張を◆第三小学校は小学校設置基準の最低校庭面積7,200㎡に照らし3,250㎡不足。第四小学校は2,243㎡不足している。拡張に向け最大限努力を。(部長) 関係部署と情報を共有、慎重に進める△
幸野) ◆教員不足に対応した学級サポート◆新

卒・新人教員が即担任で独り立ちしているが、サポートが弱い。市独自で教員を確保し支援を(教育長) まずは校内で指導教員が育成する△
幸野) ◆映画「みんなの学校」に感銘◆感想は(市長) 教員の熱意や、障がい児への教育の仕方、見守り方、本当に参考になる映画だった○
幸野) ◆学童保育所狭あい改善・4年生以上解禁◆民間学童を参入しやすくする為にも、4年生の受け入れを開始し、抜本的に増やすべき。(部長) 民間学童と話し合い、情報共有を図る△
幸野) ◆こどもの発達センターつくしんぼ◆通園教室、集団指導教室UFO、親子の遊び教室、全て不足している。もう1施設、増設すべき。(部長) 他課と連携をとって検討していく△
※○=前向き、△=含み有、×=冷たい

最期まで自宅に住み続けることのできる街に

国分寺政策市民フォーラム 星 いつろう



☆体操サークル間の「交流の場」を
星) 「施設には入りたくない。最期まで自宅に住み続けて人生を終えたい」と考える市民は少なくない。こうした方々が、サークルをつくって、市が推奨する「暮らしを拓げる10の筋力トレーニング」を公共施設で取り組んでいる。あるサークルから「この体操は続けることに意義がある。継続して使える場所の確保を市にフォローしていただきたい」といった要望をおきした。このトレーニングを広げ、高齢者の健康維持につなげるために、「各サークルの取り組みや悩み」「市への要望」を交流できるような場を設定していただきたい。
市) 2017年度に支え手の交流会を実施した。今後についてはご意見を受け止め、検討したい。

☆せん定枝の「負担の小さい出し方」を提案
星) 自宅で切った枝葉は、規定(太さ5cm未満・長さ60cm未満)にそろえて、ビニール紐で束ねて出すと、市が無料で収集してくれる。しかし、「規定にそろえることが、枝を切る作業よりも大変」との意見は少なくない。「長さ太さがふぞろいのまま、立体型の万能袋に入れて出す方法でも収集していただければありがたい」との提案をいただいた。
市) 規定の方法が労力を費やすことは理解する。収集・処理事業者と相談し、ご提案を研究したい。
星) ①高齢者にとって負担が小さくなる。②袋は何度でも使え、なおかつビニール紐の不使用で、環境に優しい。立体型の万能袋による排出

は、このメリットがある。ぜひ進めていただきたい。
☆草木が生い茂る空き家への対処
星) 近隣から苦情が寄せられた空き家について、市は所有者に連絡し、適正管理を依頼している。同時に、放置されている空き家の周辺をクリーン運動時に近所の皆さんが協力して掃除するといった地域のご努力もお伺いしている。それでも、生い茂った木が通行の妨げになってしまっている空き家は存在する。所有者と連絡がつかない場合の対応はどのようになっているのか。
市) 空き家対策の法律に基づく代執行までには至らないケースが通例であり、市も対応には苦慮しているのが現実である。
→この他「待機児童ゼロ」に向けた施策を提案

課名改正、名実共に人権平和尊重の自治体に

国分寺政策市民フォーラム 皆川 りうこ



◆会計年度任用職員制度は多くの懸念がある。現場の声をよく聞きながら取り組むように。
答) 懸念は受け止める。市の実態を踏まえて都や他市との情報交換し議論し制度設計をする。
◆地域福祉の視点で土地活用、高齢者対応を。
皆) 5/19新町樹林地まつりでは多くの地域の方が来場した。普通財産部分を早期に活用すべき。
答) あらゆる角度、様々な分野で庁内協議している。市民に有益で効果的であるべく考える。
皆) 検討過程においては、記録を残すように。
答) 庁内協議の際の記録はしっかり残していく。
皆) 再開発事業における高齢権利者に伴う課題がある。東街区の権利者の現状。コミュニティが途切れないような対応が重要。市の見解は?
答) 権利変換による住居取得が29戸、13戸入居。

今後も清算行為の過程で面談等の機会がある。これまで同様に必要に応じて対応していく。
皆) 高層マンションが増加の中で地域福祉の面からも、市として見守り等の対応が問われる。
答) 地域包括支援センターが管理組合に出向き説明や紹介等連携に努めていて今後も継続する。
◆障害者差別解消法に伴う市の取り組み
皆) 法律での「合理的配慮」「社会モデル」「過重な負担課さない」の意味は? 答) 障害は主に社会によって作られた仕組みに原因があり、ハード、ソフト双方の環境整備により社会的障壁を取り除いていく「社会モデル」の考え方変わった。「合理的配慮」は無理のない環境整備やサポートのこと。皆) 制度の谷間、たらい回しにならないよう相談事例の共有化、差別解消

に向けて取り組む機関「障害者差別解消支援地域協議会」を設置し、将来は条例化に向けた取り組みを。答) 必要性等慎重に見極めたい。
◆改正人権平和課。男女平等施策低下せぬよう皆) 「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律」が成立。市も施策等取り組みを。答) 国の動向も注視ししっかり対応していく。
皆) L G B T等多様な性の平等参画は人権尊重で重要。4月施行国立市条例では、アウティング(本人の意思を尊重せず他人が勝手に公表する)を禁止。国分寺市においても活かすように。
答) 人権問題で大事。講演会、研修等に活かす。皆) ハラスメント防止指針、障害者差別解消要綱等は人権に関わる制度だ。市民に公表せよ。答) 職員向けだがタイミング含め考えてみる。

西国分寺駅、待機児童、無戸籍について

国分寺政策市民フォーラム 及川 妙子



1. 西国分寺駅について
(1)市民サービスコーナーがないので北口の再開発事業にあわせて検討してほしい。
(2)南口駅前通りの道路照明灯がよく消えるので調べてほしい。→6月末までに調査する。
2. 都立多摩図書館について
4月28日来館者が30万人に達した。西国分寺駅からの道が危険なので道路の安全については優先的に取り組んでほしい。
3. 待機児童について=都内の待機児童は3,100名減少して5,500名以下になる見通し。当市は203名で育休中102名休職中58名で育休中が70名増。
(1)申し込み者が260名増えているのが特徴だがどう考えるか?→把握は難しい。
(2)小規模保育所をつくることについてはどう考

えるか?→短期的には待機児童の解消につながるが3歳児以降の連携圏がネックだ。
(3)待機児童への細かい丁寧な対応をお願いしたい。保育コンシェルジュが対応したらいいか?→3歳児の空きがなく難しい。幼稚園で受け入れる枠があれば連携したい。
4. ロケーションボックスについて
撮影した後の放映日を市民に周知してほしい。また観光協会にも協力してもらい総合的に情報発信してほしい。
5. 介護保険サービスと障がい者サービスについて=大原則は介護保険サービスが優先だが個々の状況に応じて一律に優先しないのが最新の考えだ。→一律に優先的に利用するものではないことを2号被保険者への対応も含めて職員に

徹底してまいりたい。
6. 無戸籍について=出生届を出さない、受けつけてもらえないと無戸籍になる。
(1)戸籍がなくても住民票に記載できるか?→出生届がなくても手続き中であれば記載できる。
(2)戸籍や住民票がなくても受けられる市民サービスはあるか?→居住の実態が把握できれば児童手当、新生児訪問、保育所入所、国保の適用、小・中学校への就学などが可能だ。
(3)このことをよく知らない人もいる。HPで相談を受けつけている市もある。当市でも市民に周知して市役所で相談を受けられるようにしてはいいか?→HPを活用して該当者への情報発信をしていきたい。無戸籍でも受けられるサービスは各課に相談していただく。

けやき運動場人工芝化、来年度の実現を

●新庁舎の建設について

本橋) 市民サービス、防災、業務執行、あらゆる面から新庁舎を一刻も早く建設すべきだと考えるが市の認識を問う。市) 仮庁舎になってから10年が経つ。財政的な面も観点も考えつつ一刻も早い庁舎建設を考えていきたい。

●人口減少社会～子育て支援の充実について

本橋) これまで1,000人近く定員を増やし努力してきたことは評価する一方で、今年度は待機児童が新定義で203名、これからも人口減少の面から流入人口を増やすには待機児童解消に力を入れていく必要があると考える。市) 待機児童の解消にこれからもしっかり取り組んでいく。

●スポーツ施設について

本橋) けやき運動場の人工芝化を強く求めて、

ようやく今年度、設計の予算計上がされているが、あらゆるスポーツが使用しやすい設計にすること、また来年度の改修工事着工を強く求めるがどうか。市) 現行は、多目的運動場で様々な団体にご利用いただいている。様々な団体が利用しやすいような設計を行っていき来年度の改修工事着工に向け努力していく。

●ペットボトルの戸別収集について

本橋) 現状の拠点方式では、地域によって拠点の距離の格差があり早急に戸別収集を行うべきだと考える。市) 平成31年度の実施に向けて検討を開始している。

●都道国3・2・8号線、都道国3・4・6号線について

本橋) 両道路について早く全面開通していただきたいと考えるが進捗を問う。市) 東京都と協

自民党新政会 本橋 たくみ



議をしながら進めていく。

●古民家の保存について

本橋) 市内には歴史的に価値がありそうな民家がまだ残っている。古民家の保存を市として取り組んでいただきたい。市) 所有者の意向をくみつつ調査をしていく。

●農業振興について

本橋) 生産緑地指定告示から30年が経過する2022年までに、特定生産緑地制度についてJ Aと協力しながら周知徹底を行っていただきたい。市) J A、関係団体と協力しながら取り組む。

●小・中学校の蛍光灯のLED化について

本橋) 省エネの観点、交換の頻度を減らす観点から小・中学校のLED化を検討していただきたい。市) 計画的に進めるよう検討する。

介護予防は人とのつながりでより強化に

甲斐) <フレイル予防>従来の身体介護予防、認知症予防に加え、人とのつながりの維持。この3つを総称してフレイル予防と言う。ロンドン大学のアンドリュー・ステップト教授の加齢研究、7年間のデータによると「つながり」の多い人の死亡率は12.3%、低い人の死亡率は21.3%である事に加え、人とのつながりが少ないと体に起こる炎症が強くなってしまふ事が判明し、心臓、血圧、ホルモンなど体中に悪影響が及び死亡する可能性すらも高まるという驚きの結論をまとめておられる。またイギリスのBBC放送では人とのつながりの大切さを伝える大キャンペーンを放送。その中「孤独は心臓病や脳卒中の危険性をおよそ3倍高め、長生きをしないという研究結果であります」とまで言い

切ってます。また今現在イギリスでは孤独担当大臣が存在して、高齢者のみならずの孤独対策に政府を挙げて乗り出したという事です。東京大学高齢社会総合研究機構の飯島勝矢教授も長生きに、つながりの重要性が、他の対策より一番ウエイトが高く驚いたと発表されている。集いの場事業、各種体操を始めとする地域活動におかれましても「つながり」を強めていただく方向性を改めて打ち出すべき。

福祉部長) 人とのつながり、言いかえれば社会性という所は介護予防で重要な要素とより一層意識、視点を重視して取り組んでゆきたい。参加された方に「つながり」を受けとめていただけるような工夫は少し考えていきたい。

甲斐) <定期巡回・随時対応型訪問介護看護(通

無会派(無所属) 甲斐 よしと



称、24時間巡回介護) >本年からの3ヶ年計画で一事業所誘致の追加をしていただいた訳ですが、従来の事業所に利用者が2名というにも関わらず、特養の待機者のうち緊急待機者が17名いらして、その方々にも紹介がなされていないのか、ケアマネも含めて徹底した意向調査がなされるべきだ。24時間巡回介護により、特養待機者が減った和光市の例もある。

福祉部長) 利用が進んでいない要因を分析してゆく必要があると思っております。特別養護老人ホームの待機者の方々の状況も可能な範囲で調べてみたいと考えます。

西国分寺駅東口・国分寺駅北口に、空港からを始めとして長距離バスの発着の要請を求めた。

弁天通りの渋滞解消に向けて

【弁天通りの渋滞解消について】

尾澤: 西町三丁目交差点の改良について、進捗状況と今後のスケジュールはどのようになっているのか。

答弁: 交差点南東の隅切り部分を土地開発公社にて先行取得し、その南側の歩道幅約1メートル部分についても協力いただく予定で現在は暫定的に舗装を行ったところです。

スケジュールに関しては5年間で測量・設計・用地取得・整備を行い、平成34年度に完了予定です。

【東京都受動喫煙防止条例案の市内の影響について】

尾澤: 東京都の受動喫煙防止条例案は新聞報道等では都内の飲食店80%以上に影響が出るとい

う報道がある。国分寺市内の影響と今後の市の対応はどのように考えているのか。

答弁: 市内の飲食店についての影響については商工会、商店会連合会と情報共有し今後話し合っていく必要がある。また、対応としては分煙支援策等について一定の配慮が商業振興の面からも必要ではないかと思えます。いずれにしても大変センシティブな問題であり、様々な意見を耳を傾けて進めていく。

【国立駅北口の新幹線通り誕生について】

尾澤: 「新幹線通り」のプロジェクトは地域の魅力を発信するとともに、人を呼び込んで地域の商店街の活性化を図っていくものであります。商店街のこういったプロジェクトに積極的に市からも支援をしていただきたいが

自民党新政会 尾澤 しゅう



いかがか。

答弁: こちらの取り組みは商業振興や光町地域のまちの魅力としても有意義なものだと考えています。地域の活力向上のため地元商店街や関係機関と連携し支援してまいります。

【公民館をコミュニティセンターへ】

尾澤: 公民館では社会教育法の制約で部屋の個人利用や、地域福祉に明らかに寄与するこくベジや国分寺ブランドの商品、地域住民の制作物を販売することできません。コミュニティセンターという地方自治法に基づく施設へ転換すべき。

答弁: 歴史的経緯もあり現在直ちに公民館事業から転換するという判断はなかなか立てないと考えている。

第2回定例会陳情の審議結果

第2回定例会では陳情10件を審議した結果、採択1件、継続9件となりました。

《採択となった陳情》

陳情第29-11号 幼稚園が行う「預かり保育」への助成制度の新設に関する陳情

《継続となった陳情》

陳情第29-2号 西国分寺駅東口開設を求める陳情

陳情第29-3号 新市庁舎建設に関する文化施設の併設についての陳情

陳情第29-5号 「日本軍『慰安婦』問題に関する意見書」の見直しを求める陳情

陳情第29-6号 西国分寺駅東口窓ヶ窪側乗降口の開設を求める陳情

陳情第29-8号 東京都立武蔵国分寺公園または隣接する都有地へのドッグラン設置についての意見書提出を求める陳情

陳情第29-9号 東京都に、第32回オリンピック競技大会(2020/東京)の開会式に競技施設等の工事従事者の入場行進を求める等の意見書提出を求める陳情

陳情第29-10号 日本政府に核兵器禁止条約への調印を求める意見書の提出を求める陳情

陳情第29-12号 日本政府に核兵器禁止条約への調印を求める意見書の提出を求める陳情

陳情第29-13号 国分寺障害者団体連絡協議会の活動拠点を確保し提供することに関する陳情

映像配信について

平成30年第2回定例会の本会議で行われた一般質問と議案審議の様子が市議会のホームページからご覧になれます。また、次回第3回定例会の一般質問と議案審議のライブ中継・録画配信も行います。なお、決算特別委員会の録画配信も始まります。ぜひご活用ください。



議会の動画配信ページ QRコード

スマートフォン等で読み取るとサイトにアクセスできます!



主な議案の審査状況

平成30年度一般会計補正予算(第1号)を全員賛成で可決

【説明】

歳入歳出予算にそれぞれ1億9,238万2千円を追加し、総額を451億4,836万8千円とし、債務負担行為補正1件を追加するもの。

歳入の主なものは、市が社会福祉協議会に委託している後見監督業務において、補助金が加算される基準を満たしたことによる地域福祉推進区市町村包括補助事業補助金(都支出金)の増額、歳出に伴う国の補助金、東京都の補助金・委託金等の増額。

歳出の主なものは、振り込め詐欺等の特殊詐欺対策のための自動通話録音機200台購入による消耗品費(総務費)の増額。待機児童数増加により民設民営保育所1園を整備するための民設民営保育所園舎建設費等補助金

(民生費)の増額。東元町三丁目の元町用水沿いに管理用地を取得するための用地買収費等(土木費)の増額。東京都の働き方改革の一環として、一般教員の負担軽減を図るため、市内8校を対象にスクール・サポート・スタッフを配置することに伴う臨時職員賃金(教育費)の増額。第三中学校が昨年に引き続き道徳教育推進拠点校の指定を東京都から受けたことに伴う消耗品費(教育費)の増額。第一中学校音楽室のエアコンが老朽化により故障したため、10年リースで設置することに伴うエアコン借上料(教育費)の増額等。

【特別委員会の設置】

補正予算審査特別委員会(委員長:なおの克、副委員長:秋本あすか)を設置し審査する。

【主な質疑】

・民設民営保育所の設置に関する協力事業者を選定するために設定された審査内容等に

ついて

- ・自動通話録音機の防犯効果の検証と利用いただくための効果的な周知の仕方、購入にかかる財源の考え方等について
- ・元町用水沿いの管理用地にかかる取得の目的とその土地の今後の管理等について
- ・鞍尾根橋より上流の野川の整備状況について
- ・スクール・サポート・スタッフの配置以外の教員の負担軽減の対応について
- ・スクール・サポート・スタッフの配置と部活動指導の関連について
- ・道徳教育推進拠点校に指定されている第三中学校の取り組みと他の中学校4校への普及について
- ・老朽化により故障した第一中学校音楽室のエアコンが設置された時期と使用状況等について

【補正予算審査特別委員会及び本会議の結果】
全員賛成で可決

放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例の一部改正を全員賛成で可決

【説明】

放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の改正に伴う放課後児童支援員(以下「支援員」という。)の資格要件の拡大、教員免許制との関係の明確化、また、専門職大学の創設に伴う文言の追加により、条例の一部を改正するもの。

【主な質疑】

- ・有資格者の就業者数と求職者数について
- ・5年以上従事した者で市長が適当と認めるものの基準について
- ・支援員認定資格研修の受講者の受講状況に

ついて

- ・東京都で支援員認定資格を受けた方が都外へ転出された場合の取り扱いについて
- ・5年以上従事した者で市長が適当と認めるものの資格要件の該当者数について
- ・現在配置している支援員の資格要件の内訳について
- ・人材確保に当たって民間事業者からの声の把握について
- ・登録児童数に応じた支援員配置基準の明確化について
- ・大学生等のボランティア・臨時職員への活用の取り組みについて
- ・人材確保のため、処遇改善等事業・キャリアアップ処遇改善事業の実施について
- ・支援員の資格要件の基準緩和に係る国の動

向について

- ・資格要件のうち、放課後児童健全育成事業に類似する事業とは何か。また、放課後児童健全育成事業、放課後児童健全育成事業に類似する事業、児童福祉事業などの定義の違いや規定の仕方について

【委員会での賛成討論】

学童保育の質を考えたとき、支援員の基準緩和は望ましくないが、5年以上放課後児童健全育成事業に従事した者で市長が適当と認めるものの資格要件を設けることは、信用や信頼の上に経験を積まれたことを意味するものであり、人材確保の面からも前向きな緩和ととらえて賛成とする。

【文教子ども委員会及び本会議の結果】

全員賛成で可決

閉会中の委員会等

委員会はどこでも傍聴できます

第2回定例会終了後、平成30年第3回定例会までの間に開催する委員会等は下記のとおりです。

- 7月17日(火) 議会運営委員会
- 7月25日(水) 厚生委員会
- 7月30日(月) 国分寺駅周辺整備特別委員会
- 8月1日(水) 総務委員会
- 8月2日(木) 文教子ども委員会
- 8月6日(月) 建設環境委員会
- 8月29日(水) 代表者会議/議会運営委員会

市役所第1庁舎3階委員会室で午前9時30分から開催します。

*詳しくは、市議会ホームページをご参照ください。

「議会改革検討委員会」を設置



国分寺市議会では、市民により開かれた市議会のあり方及び議会活動の一層の活性化について調査及び検討を行うため、平成30年4月に議会改革検討委員会(委員長:田中政義、副委員長:及川妙子)を設置しました。

これまでに、5月17日と7月11日に開催しました。次回は、8月3日(金)午前9時30分から市役所第1庁舎3階委員会室にて開催します。

*委員会記録は、ホームページに随時掲載いたします。

議員派遣

新可燃ごみ処理施設建設現場を視察

平成30年6月18日、日野市、国分寺市、小金井市の3市共同による新可燃ごみ処理施設建設工事の進捗状況を確認するため、建設地である浅川清流環境組合の工事現場(日野市石田一丁目)の視察を全議員24名で行いました。



(浅川清流環境組合現場事務所にて)

第2回定例会議案審議結果

第2回定例会には新規12件(市長提出11件、委員会提出1件)の議案が提出され、同意1件、可決9件、承認2件となりました。今定例会において、賛否が分かれたものはありませんでした。

議案番号	議案等名称	議案の要旨	付託先委員会	結果
第60号	専決処分について(国分寺市市税賦課徴収条例の一部を改正する条例)	地方税法の改正に伴い、土地の固定資産税及び都市計画税における負担調整措置の延長等に関する規定を整備する必要があり、専決処分したので議会の承認を求める。	総務	全員賛成・承認
第61号	専決処分について(国分寺市国民健康保険条例の一部を改正する条例)	地方税法施行令の改正に伴い、国民健康保険税の減額に関する規定を改正する必要があり、専決処分したので議会の承認を求める。	厚生	全員賛成・承認
第62号	教育委員会委員の選任について	国分寺市教育委員会委員の任期満了に伴い、大木桃代氏を選任する。	—	全員賛成・同意
第63号	国分寺市市税賦課徴収条例等の一部を改正する条例について	地方税法の改正に伴い、市たばこ税の税率の引き上げ等に関する規定を整備する。	総務	全員賛成・可決
第64号	国分寺市介護保険条例の一部を改正する条例について	介護保険法施行令の改正に伴い、引用条項を整理する。	厚生	全員賛成・可決
第65号	国分寺市包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	介護保険法施行規則の一部を改正する省令の改正に伴い、主任介護支援専門員に関する規定等を整備する。	〃	全員賛成・可決
第66号	国分寺市放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例について	放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の改正に伴い、放課後児童支援員の資格要件に関する規定を整備する。	文教子ども	全員賛成・可決
第67号	国分寺市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担に関する条例の一部を改正する条例について	子ども・子育て支援法施行令の改正に伴い、教育認定子どもに係る利用者負担額を引き下げる。	〃	全員賛成・可決
第68号	国分寺市立公園条例の一部を改正する条例について	西恋ヶ窪一丁目内に国分寺市立恋ヶ窪用水路周辺緑地を新設する。	建設環境	全員賛成・可決
第69号	平成30年度国分寺市一般会計補正予算(第1号)	歳入歳出予算の総額に1億9,238万2千円を増額し、歳入歳出それぞれ451億4,836万8千円とする。	補正予算	全員賛成・可決
第70号	財産の譲渡について	民地内に設置した雨水浸透ますの適正な維持管理を図るため、使用者に無償譲渡する。	建設環境	全員賛成・可決
委員会提出議案第2号	国分寺市議会委員会条例の一部を改正する条例について	任期満了による常任委員の改選時における、任期に関する規定を改める。	—	全員賛成・可決

補正予算=補正予算審査特別、—=本会議即決